MG MASTER GRADE
GUNDAM 00

ソレスタルビーイング
格闘戦用モビルスーツ
GN-001「ガンダムエクシア」
1/100スケール マスターグレードモデル

GUNDAM EXIA
CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GN-001

©創通・サンライズ

GN-001
GUNDAM EXIA
CELESTIAL BEING
MOBILE SUIT

MG MASTER GRADE
GUNDAM 00

ソレスタルビーイング
格闘戦用モビルスーツ
GN-001「ガンダムエクシア」
1/100スケール マスターグレードモデル

BANDAI 2009 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

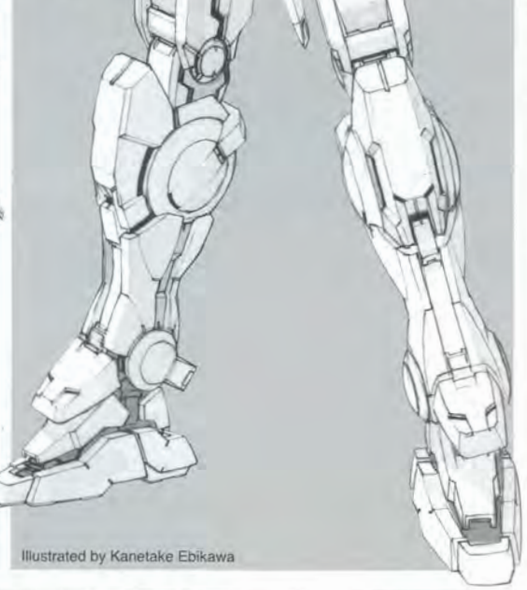
0159452

BANDAI

CELESTIAL BEING MOBILE SUIT

GN-001 GUNDAM EXIA

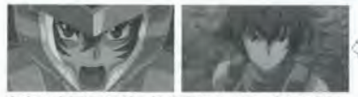
武力を使って紛争の根絶を目指したソレスタルビーイング。そのために必要とされたのが圧倒的な力を持つ機動兵器ガンダムである。ガンダムは少ない機体数で、世界を相手にして勝利しなくては、紛争に対する抑止力となり得ない。ガンダムは、太陽炉という無限にエネルギーを生み出すエンジンユニットを持ち、そこから発生するGN粒子による機体制御とビーム兵器の実用化を成し遂げていたが、その開発は困難を極めた。組織では、理念に共感する優秀な科学者をスカウトすることで百年は進んだ技術を持っていたが、あまりにも要求される技術的ハードルが高かった。そのためガンダムの開発は段階を経て行われることとなった。第一世代ガンダムは機動兵器としての基本性能の開発に重点が置かれた。完成した0(オー)ガンダムは、太陽炉を搭載したモビルスーツとしての基本システムを完成させ、ビームを使用した銃と剣を搭載した。第二世代ガンダムからは、実際の武力介入で必要とされる能力別の機体開発が行われ、計四機の機体が製造された。ここで得られたデータをベースに実際の武力介入に使用される機体として製造されたのが第三世代ガンダムであり、GN-001ガンダムエクシアは、その中の一機であった。エクシアの設計ベースには、第二世代ガンダムのGNY-001ガンダムアストレアが使われた。元々汎用機として開発されたアストレアであったが、人間に近い運動性は格闘戦に特化したエクシアにも適していた。本機は、『セブンソード(七本の剣)』の開発コードを持ち、あらゆる条件下での格闘戦を想定していた。武力介入の初期段階において、ユニオン軍、AEU軍、人革軍の三軍ともにガンダムの性能に対抗できるモビルスーツは存在せず、ガンダムは圧倒的なまでの武力を世界に見せつけることになる。中でも、接近戦を多用し、敵を派手に斬り捨てるエクシアの戦闘法は、非常にインパクトがあり、世界に対する『ガンダムという恐怖』を植え付けるのに大きく貢献した。このことは計画予備段階から想定されており、それゆえに組織の戦術予報士スメラギ・李・ノリエガも、ソレスタルビーイングのお披露目となったAEU軍の新型機イナクトの発表会場への介入行為にエクシアを使ったのだ。一方で、ガンダムは少数で多数の敵と戦うことを要求された。無限のエネルギー源を持つガンダムだが、瞬間的に生産出来るエネルギー量には限りがあった。その点で実体剣のGNソードをメイン武装とするエクシアは、消費エネルギー量が低く、長期戦においても優位な機体であった。もっとも多くの戦闘においてエクシアの圧倒的な性能を目の当たりにした敵は、戦意を喪失し、一部のエースパイロットとの戦闘や、三重合同演習時のような罠でもないかぎり、長期戦になるようなことはまれであった。



Illustrated by Kanetake Ebikawa

SETSUNA F SEIEI

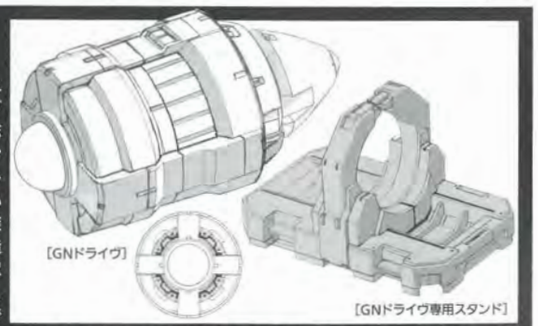
[刹那・F・セイエイ]



中東の小国クルジス共和国に生まれ、少年兵として育てられた少年。幼い頃に試験的な武力介入のため稼働していた0(オー)ガンダムを目撃、命を助けられた経験がある。この時、0(オー)ガンダムのマイスターを務めていたのが、後に敵対することになるリボンズ・アルマークであった。リボンズは、神を見るような目で自分のガンダムを見つめる刹那が気に入り、彼をマイスターの候補としてヴェーダに進言する。後に組織にスカウトされた刹那はエクシアの正式なガンダムマイスターとなる。武力介入時で16歳という若さであった。彼は戦いの続く歪んだ世界を変えたいと願いながら、自らも戦いの中に身を置くことしかできなかった。活動中に出会ったアザディスタン王国の第一皇女マリナ・イスマイールとは、お互いに共感しながらも、非戦闘を掲げるマリナと、戦いによって未来を掴むことしか出来ない刹那との間には、悲しい溝が存在していた。やがて時代が進み、ソレスタルビーイングが国連軍との戦いに敗れ崩壊した後も、刹那は自らの手で半壊したエクシアを修理し(この機体はエクシアリペアと呼ばれる)、世界の歪みを見定めようと活動していた。そして、ソレスタルビーイングが再起を果たすと合流し、再び歪みを正すための戦いに身を投じることになる。

GN DRIVE

[GNドライヴ]



[GNドライヴ]

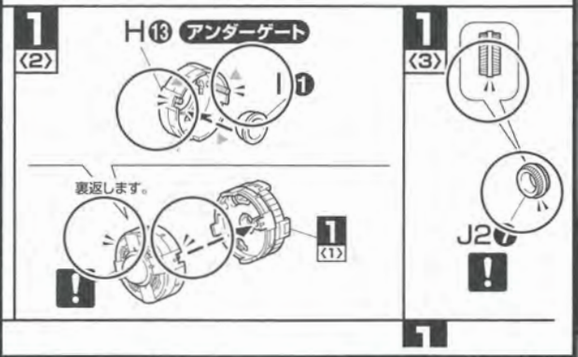
[GNドライヴ専用スタンド]

ガンダムの根幹を成すエンジンユニット。イオリア・シュヘンベルグが基礎理論を考えだし、その意志を受け継いだソレスタルビーイングの科学者たちによって完成した。開発のためには、木星環境が必要であり、有人木星探査隊に偽装した組織のメンバーによって製造が行われた。GNドライヴは、無尽蔵にGN粒子を生み出し続ける。発生したGN粒子は一種の光子であり、『光を生み出し続ける炉』であることから『太陽炉』とも呼ばれるようになった。ソレスタルビーイングが所有するのは、五基のみだが、これは武力介入に必要な最低限の数である。数を制限した理由は、その製造が難しかっただけでなく、大量生産によって敵にドライヴが渡る危険性を防ぐためでもあった。GNドライヴ搭載機同士による戦闘は熾烈を極めることが分かっており、紛争根絶を掲げる組織にとって、それは避けねばならない事態だった。最終的に裏切り者アレハンドロ・コーナーによって開発されたGNドライヴ[T](疑似太陽炉)がもたらした、新たな戦局をみれば、この判断が正しかったことが分かる。エクシアのGNドライヴは、安全装置を開放することで一時的にブースト状態とすることが可能であったが、通常、使用は推奨されず、ほとんど使われることはなかった(本システムは、リペアⅡで使用されている)。

組み立て前の基本説明

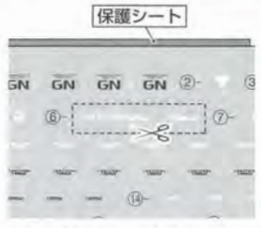
部品の向きに注意してください

※組み立て図中に"!"のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

❶ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

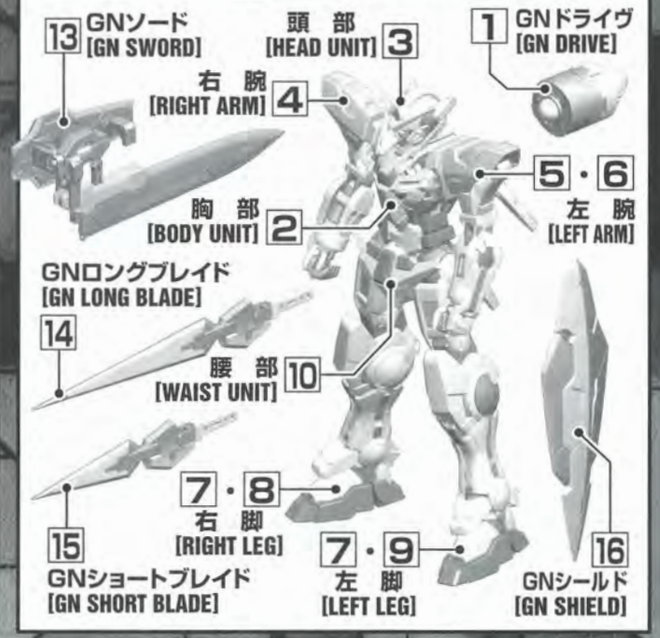


❷保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

❸シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

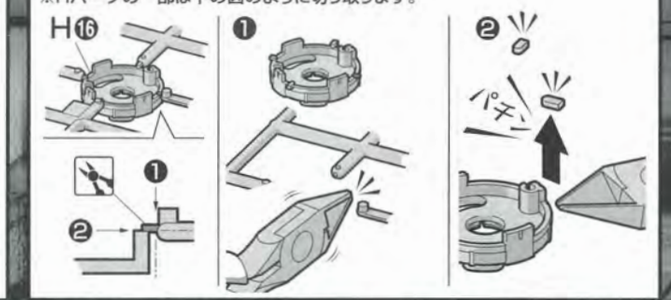
説明書をよく読んで完成させましょう



アンダーゲートの切り取りかた

▶ アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※Hパーツの一部は下の図のように切り取ります。

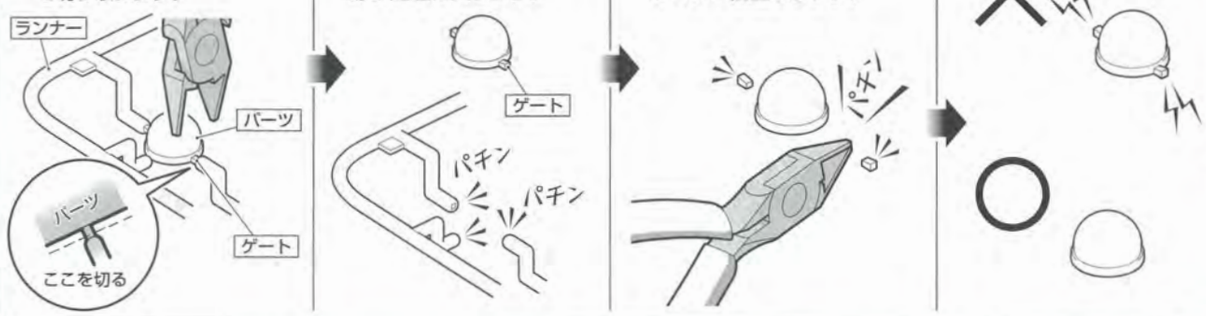


パーツの切り取りかた

❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



※組立図中の記号説明 切り取る部分

⚠ 注　意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

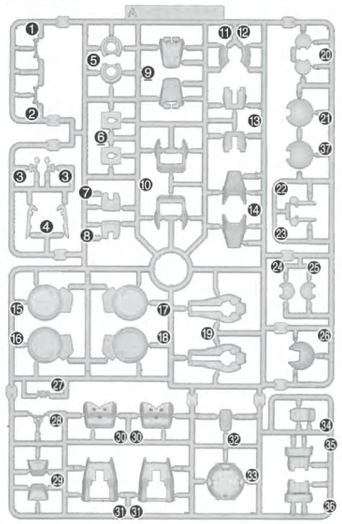
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

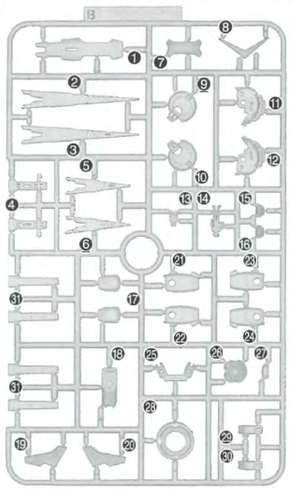
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト（×印は使用しないパーツです。）

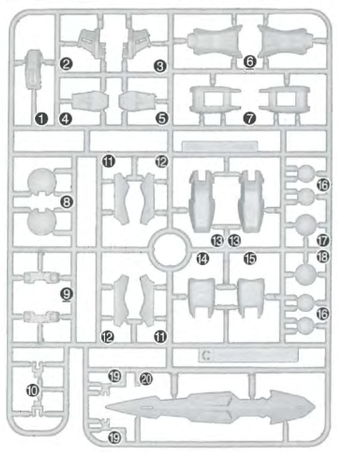
Aパーツ（スチロール樹脂：PS）



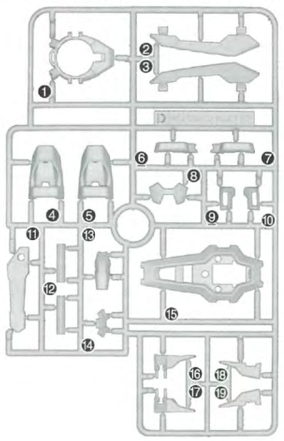
Bパーツ（スチロール樹脂：PS）



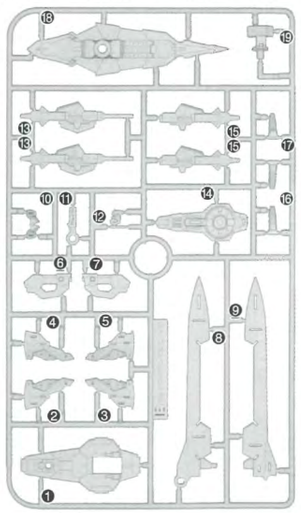
Cパーツ（スチロール樹脂：PS）



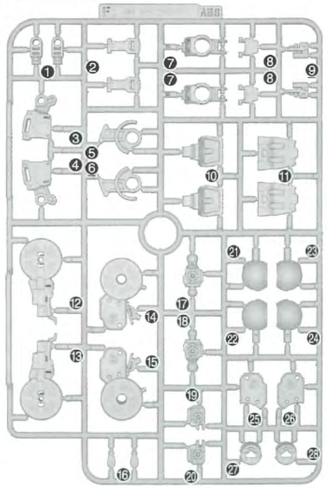
Dパーツ（スチロール樹脂：PS）



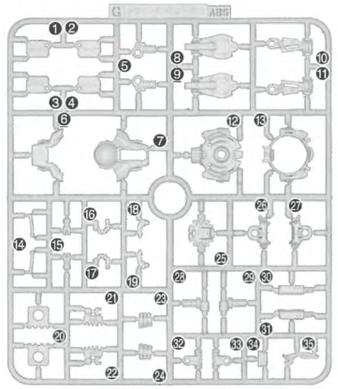
Eパーツ（スチロール樹脂：PS）



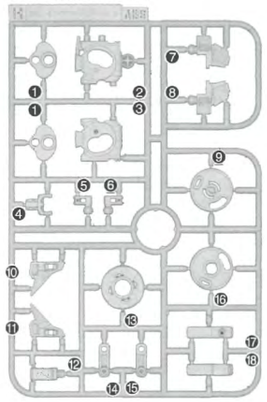
Fパーツ（ABS樹脂：ABS）



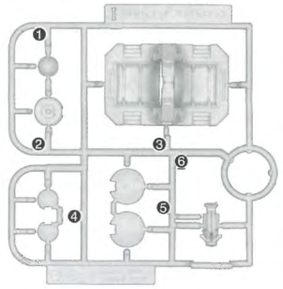
Gパーツ（ABS樹脂：ABS）



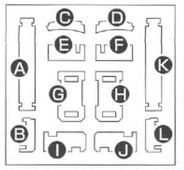
Hパーツ アンダーゲート有り
（ABS樹脂：ABS）



Iパーツ（スチロール樹脂：PS）



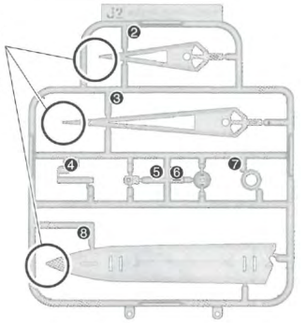
ホログラムパーツ
（エチレン-酢酸ビニル樹脂：EVAC）



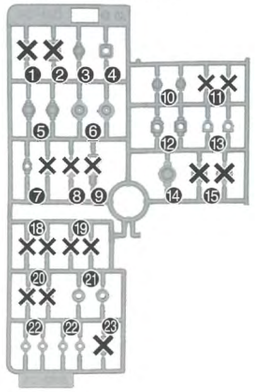
※ホログラムパーツはツヤのある面が裏側になります。組立てには表裏を間違えないように気をつけてください。

J2パーツ（スチロール樹脂：PS）

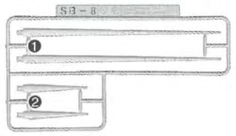
⚠形状再現上とがっており危険です。注意して組み立ててください。



PC-130B
（ポリエチレン：PE）



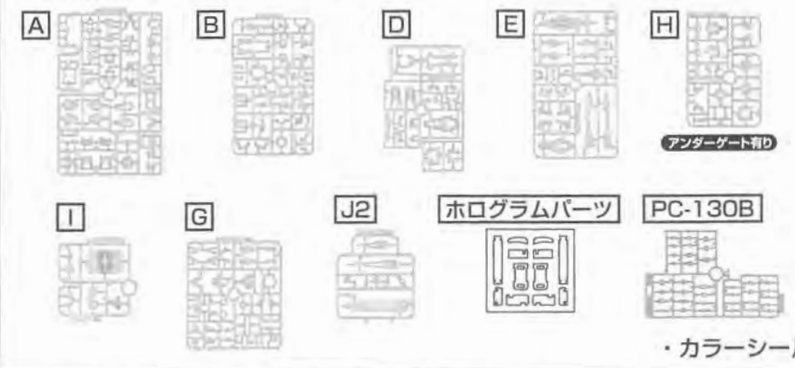
SB-8パーツ（スチロール樹脂：PS）



カラーシール……1枚
マーキングシール……1枚
ガンダムデカール……1枚

1 2 GN DRIVE / BODY UNIT

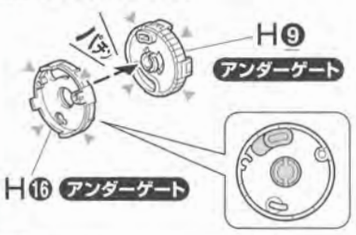
・組立 1・2 で使用するパーツ



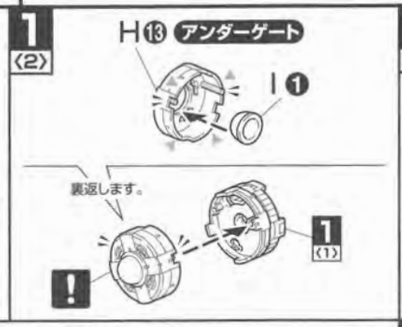
・カラーシール

1 〔GNドライヴの組立〕

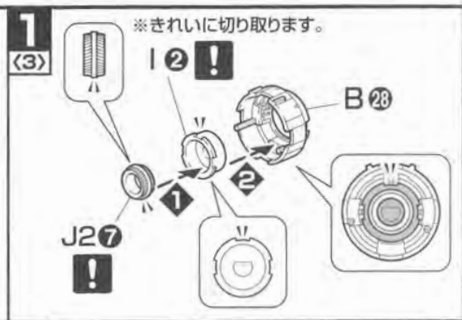
1〈1〉 GN DRIVE UNIT



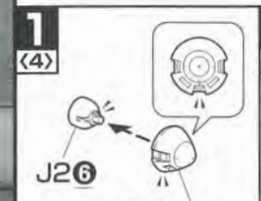
1〈2〉



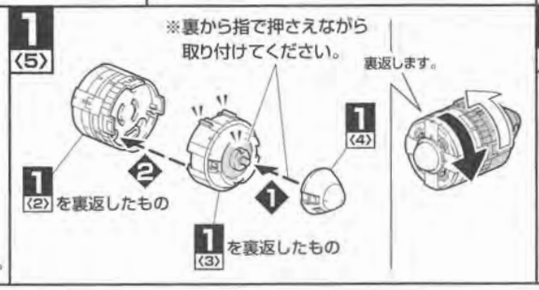
1〈3〉



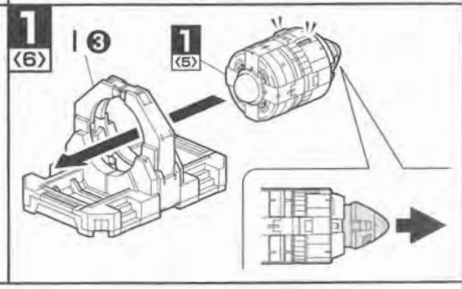
1〈4〉



1〈5〉

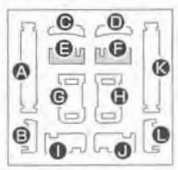


1〈6〉

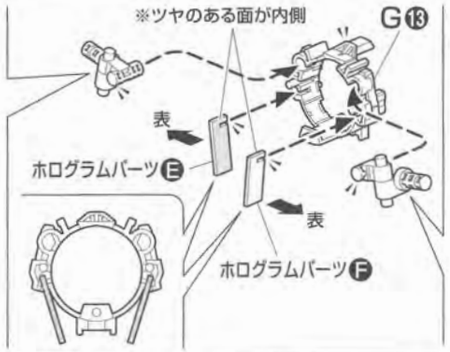


2 〔胸部の組立〕

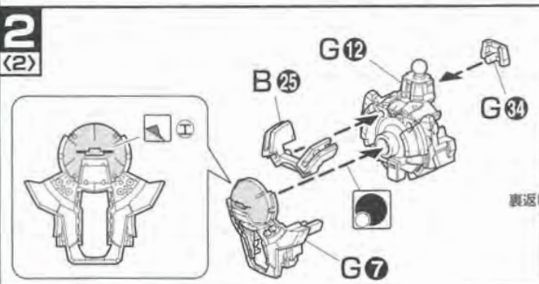
2〈1〉 BODY UNIT

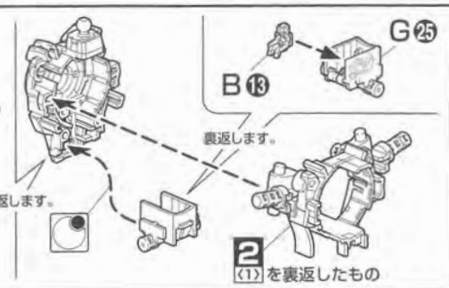


※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。



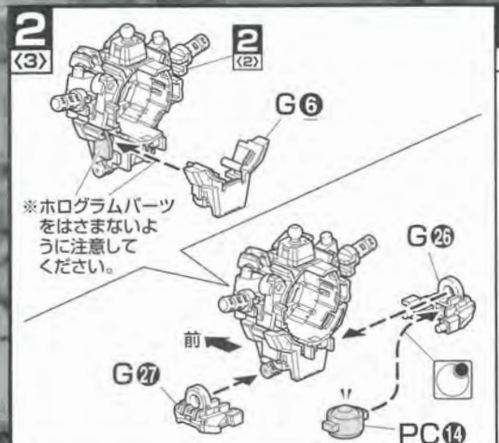
2〈2〉



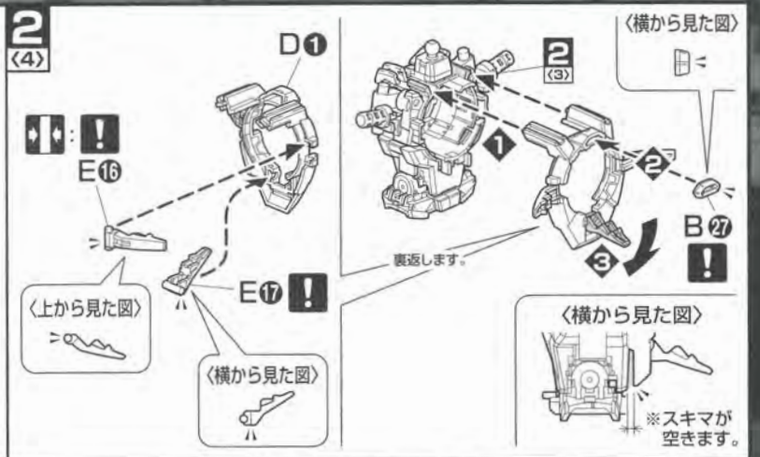


※組立図中の記号説明
後から組み立てる
先に組み立てる
シールの番号
向きに注意して組み立てる

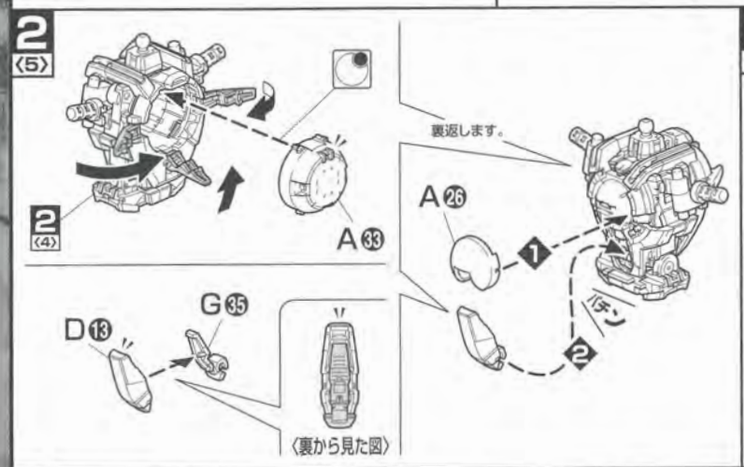
2〈3〉



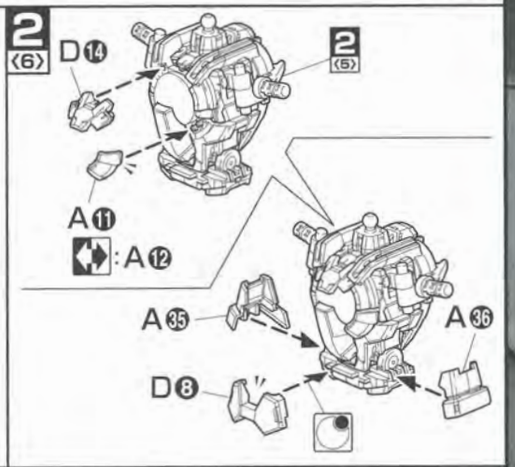
2〈4〉



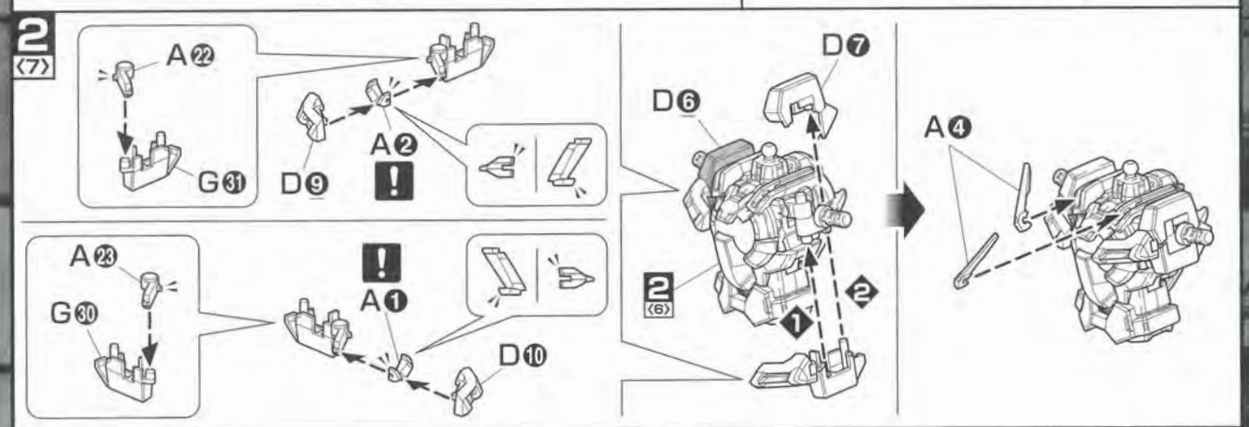
2〈5〉



2〈6〉

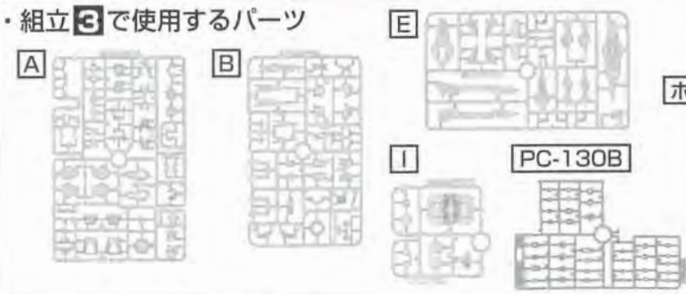


2〈7〉



3 HEAD UNIT

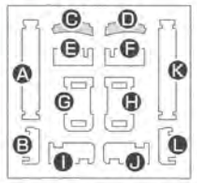
・組立 3 で使用するパーツ



・カラーシール

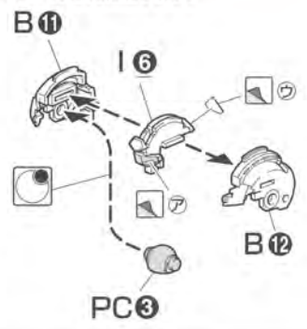
※組立図中の記号説明
向きに注意して組み立てる
両側に同じパーツを取りつける
先に組み立てる
反対側に取り付けるパーツ

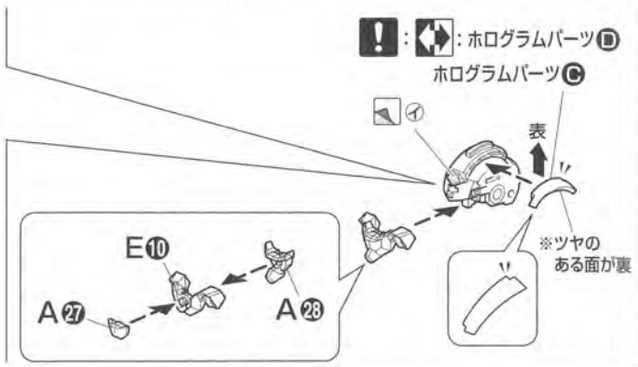
3 〈1〉〔頭部の組立〕 HEAD UNIT



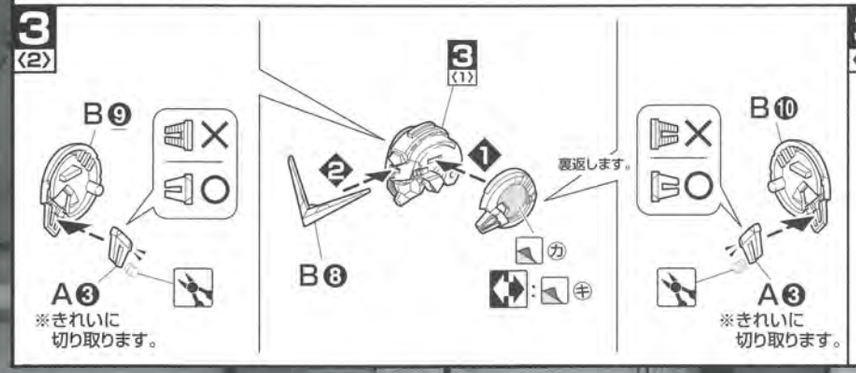
※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

※シールは先に貼ります。

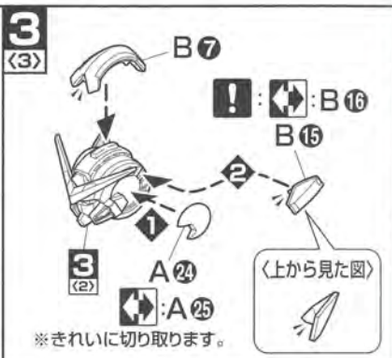




3 〈2〉

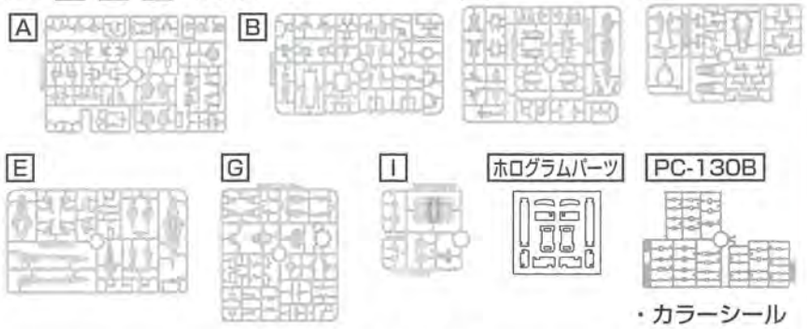


3 〈3〉

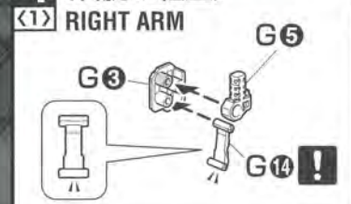


4 5 6 ARM UNIT

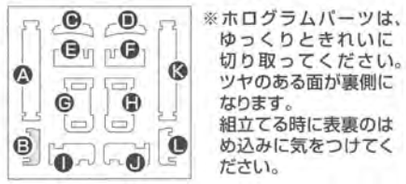
・組立4・5・6で使用するパーツ



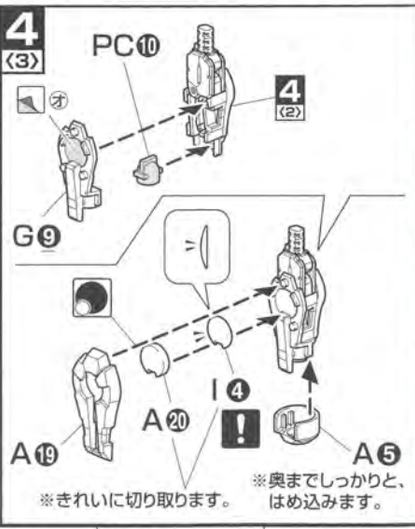
4 〈1〉〔右腕の組立〕 RIGHT ARM



4 〈2〉

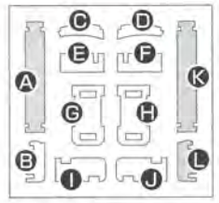


4 〈3〉

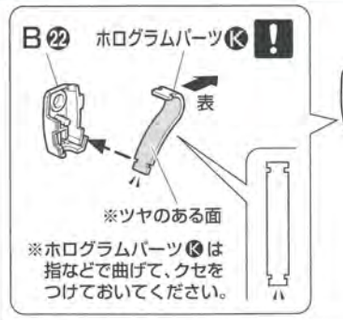


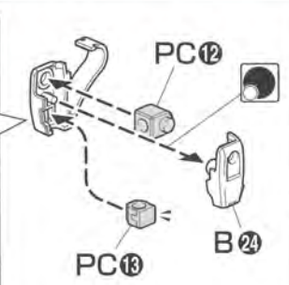
※組立図中の記号説明: 切り取る部分 / 先に組み立てる / 後から組み立てる / ア シールの番号 / ! 向きに注意して組み立てる / ⬌ 反対側に取り付けるパーツ

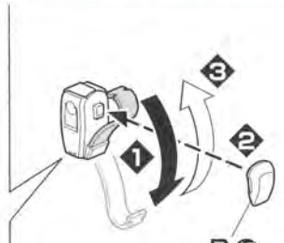
4 〈4〉



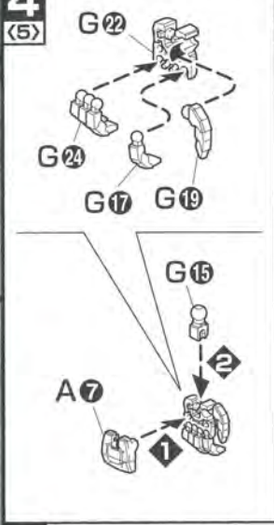
※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。



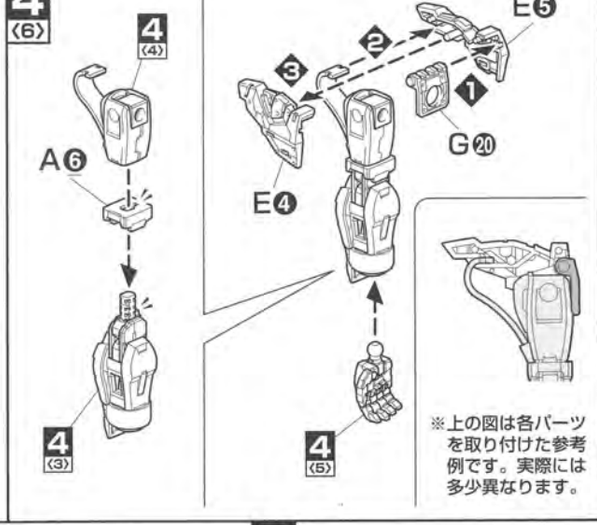




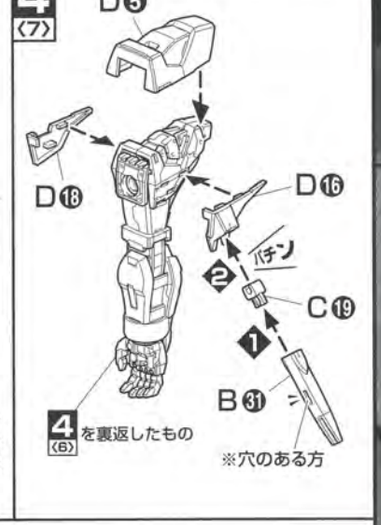
4 〈5〉



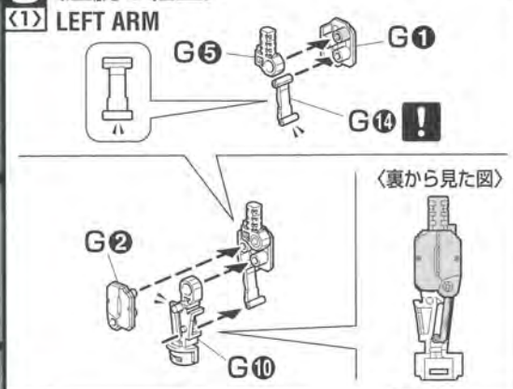
4 〈6〉



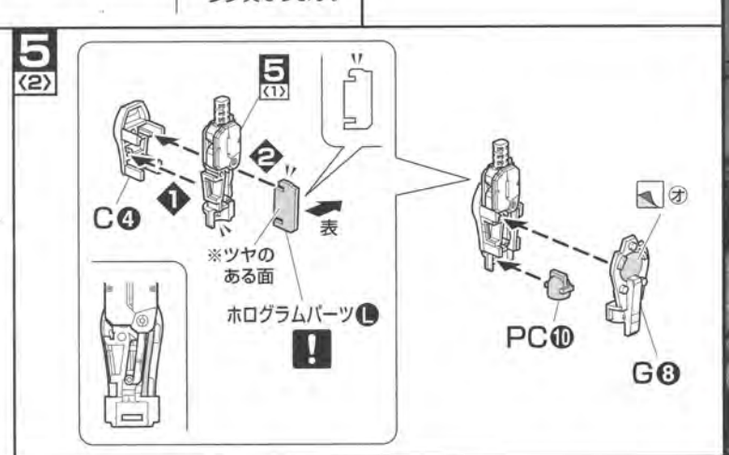
4 〈7〉



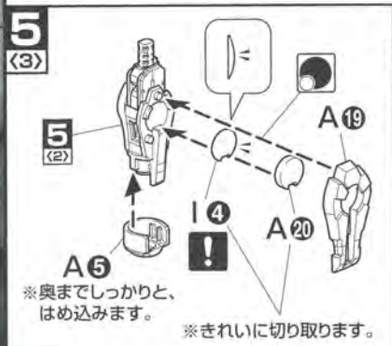
5 〈1〉〔左腕の組立〕 LEFT ARM



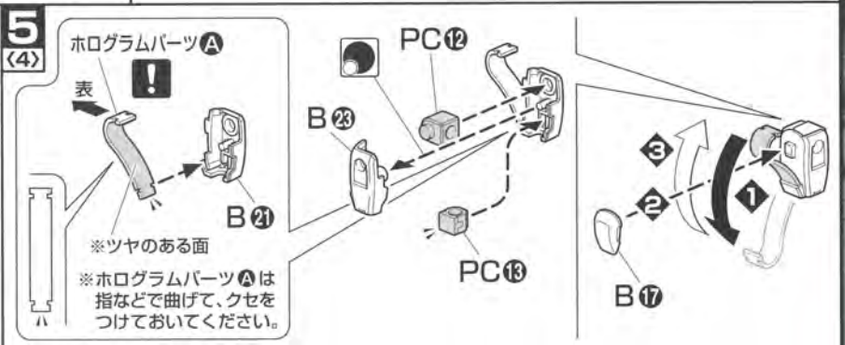
5 〈2〉



5 〈3〉



5 〈4〉



※組立図中の記号説明: ! 向きに注意して組み立てる / 後から組み立てる / ア シールの番号

FIGHT'S ON
DOCUMENTARY PHOTOGRAPH

西暦2307年。三本の軌道エレベーターが建設され、三つの超大国に世界は集約されていた。しかし、世界は未だ一つになれず、紛争の火種は絶えなかった。
そんな世界に対し、武力介入による紛争の根絶を掲げる組織が現れた。『私たちはソレスタルビーイング。機動兵器ガンダムを所有する私設武装組織です』。彼らは、圧倒的な性能を持った四機のガンダムを使い、世界各地の紛争に介入を開始する。

Unrequited SOUL ~報われぬ魂~

AEU軍とモラリアの民間軍事会社PMCトラストの合同軍事演習が発表された。これはソレスタルビーイングに対する挑戦であった。すぐに武力介入が決定される。戦闘に参加するエクシアには、ミッション直前になって完成したGNロングブレイドと、GNショートブレイドが装備された。これで開発コードであった『セブンソード』すべてが揃ったことになる。モラリアでの戦闘が開始されると、多数のモビルスーツを相手にエクシアは、七本の剣を駆使し、次々と敵を撃破していった。だが……、そこに予期せぬ敵が現れる。青いカスタム化された新型機イナクトだ。まるで刹那の操縦のクセを見抜いたような戦い方で、エクシアが繰り出す剣が、ことごとくかわされてしまう。「パイロットの腕は、いまいちのようだな」刹那は理解した。今相手にしているパイロットは、かつて自分を少年兵として育て上げたアリー・アル・サーシェスであると。戦いで世界を変えようとする刹那と、楽しむために戦うサーシェス。正反対でありながら、お互いに戦いの中でしか生きられない二人の運命が交錯する。

●写真はイメージです。

Bonds ~絆~

新たに現れた三機のガンダムスローネ。計画に存在しない彼らによる武力介入は、容赦ないものであった。ついには、一般人への攻撃までが行われてしまう。刹那は確信する、「彼らはガンダムではない」と。刹那はエクシアを駆り、スローネに戦いを仕掛ける。「三機のスローネを紛争幇助対象と断定し、武力介入を開始する」。それは命令にない刹那の単独行動であった。戦いに入ると、スローネ三機を相手にエクシアは苦戦を強いられる。だが、この窮地に意外な友軍が現れる。ガンダムヴァーチェを駆るティエリア・アーデだ。ティエリアは刹那に対して通信を送る。「フォーメーション、S32」。すぐにその意味を理解した刹那が答える「了解」。ヴァーチェのGNフィールドでエクシアを守りながら、スローネとの距離を詰める。近距離戦にエクシアを送り込むのだ。二機の連携はスローネを追い詰めていく。「フッ。まさか、キミと共にフォーメーションを使う日が来ようとは、思っても見なかったよ」「俺もだ」。いつもは反目しあう二人だが、共通の敵を前に最高の連携を見せるのであった。

PAINTING GUIDE

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ガンダムエクシア

- 本体等ホワイト部の塗装色。ホワイト(100%)+ネービーブルー(少量)
- 胸等ブルー部の塗装色。コバルトブルー(80%)+スカイブルー(20%)+ブルー(少量)
- 腹等レッド部の塗装色。モンザレッド(75%)+ホワイト(25%)+ブルー(少量)+ニュートラルグレー(少量)
- 内部メカ等グレー部の塗装色。ニュートラルグレー(90%)+ブラック(10%)
- アンテナ等イエロー部の塗装色。ホワイト(50%)+イエロー(30%)+オレンジイエロー(20%)
- 目等クリアグリーン部の塗装色。クリアグリーン(60%)+クリアブルー(20%)+クリア(20%)

刹那・F・セイエイ

- スーツ等ダークブルー部の塗装色。ブルー(95%)+ホワイト(5%)+ブラック(少量)
- 肩、ライン等ホワイト部の塗装色。ホワイト(100%)
- 胸等カーキグリーン部の塗装色。カーキグリーン(65%)+ホワイト(35%)
- スーツ等ブルー部の塗装色。コバルトブルー(70%)+ホワイト(30%)
- 顔肌色部の塗装色。はだ色(100%)
- 髪ダークグレー部の塗装色。ミッドナイトブルー(100%)

カレル

- 本体等グレー部の塗装色。ニュートラルグレー(70%)ホワイト(30%)+グリーン(少量)
- 本体ブラック部の塗装色。ブラック(100%)
- ハロオレンジ部の塗装色。オレンジ(60%)+ホワイト(30%)+イエロー(10%)

MOVABILITY

股間の上下スイングアクションによる、下半身の柔軟なポージングに加え、腹部の前後可動、脇腹の上下可動等による上半身の多彩なモーションにより、人体の動きを追求したダイナミックなアクションポーズを実現。

ONE POINT STEP

スミ入れしてみよう!!

ガンダムマーカー／スミ入れ用(別売り)などを使用して、ミゾの所に線を引くことで、模型が引き締まります。

金属表現をしてみよう!

メタリック系のガンダムマーカー(別売り)を装甲内部に使用することで、よりメカニカルな仕上がりに。

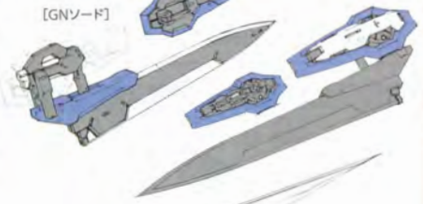
MECHANISM and WEAPONS GUIDE

格闘戦に特化した機体であるエクシアは、元々汎用機であったアストレアをベースとしている。これは、エクシアが武装面においては『格闘戦』に特化しているものの、機体の基本性能では、汎用的であることを示している。その証拠に他のガンダムではオミットされた『人間と同等の可動範囲』を実現するための機体構成が、エクシアには残されている。なお、他のガンダムでは、可変機能を持つキュリオスをはじめ、遠距離戦を主体とするデュナメスやヴァーチェなどは、エクシアほどの可動範囲を持たない(これらはデメリットではなく、必要とされない故に採用されていないのであり、逆を言えば、格闘戦を主体とするエクシアには人間と同じ可動範囲が求められたのである)。エクシアの基本フレームは、初期の武力介入に使用された四機のガンダムの中で、もっとも複雑な構造を持ち、同時に広い可動領域を実現していた。これは格闘戦においてエクシアに優位性をもたらすものであったが、可動にともなう装甲の細分化に加え、動きによっては装甲されていない関節部が露出するなど、運用上のデメリットも存在していた。これをカバーするため、エクシアには専用のGNシールドが装備されていた。運用中に可動範囲を狭めないため、通常時はコンパクトなサイズでありながら、必要に応じて防御面を広く展開することが可能であった。同様にエクシアにとって最も大きな武装であるGNソードも、その刃の部分を折りたたむことが出来た。エクシアの外見で目を引くのが、機体各部に走るコードだ。特に肩から腕に伸びる物は、他の機体には見られない形状である。このコードはGN粒子を大量に、そして瞬時に機体各部に送るためのシステムであり、ガンダム全機に採用されている。これらは機体各部へのエネルギー供給を行うだけでなく、GN粒子による質量軽減効果を使った姿勢制御に活かされている。エクシアでは、敵と近接した状態での戦闘が多用されるため、機体外部に多くのコードを展開し、他のガンダムよりもミニマムな姿勢制御を実現している。ただし、これは防御面では危険なシステムであり、後にエクシアリペアⅡへと改良された際には、装甲内にコードの多くが格納されることとなる。

GN SWORD

エクシアのメイン武装。右腕に装着される。セブンソードの中で最も巨大であり、刃はエクシアの腕よりも長い。使用時には刃の表面がGN粒子によってコーティングされ、より高い切断能力を得ることが出来る。この機能はオフにして使うことも可能であり、極論、まったく粒子消費することなく使用可能な格闘武器となっている。ただし、その巨大さゆえに狭いバトルフィールドでは使用出来ない。また、ライフルモードへ変形させることでビームライフルへと変貌する。これは格闘戦に特化したエクシアにとって出来るだけ装備数を減らし、機体の自由度を高めるために採用されたシステムである。

[GNソード]



LEG UNIT

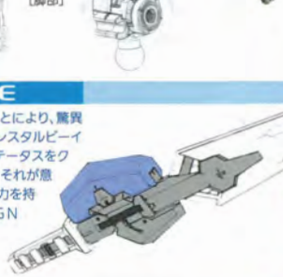
ガンダムにはGN粒子による機体の質量軽減効果がある。これは、ただ機体を軽くするだけではなく、任意に機体各部の質量比率を変化させることで、空中での慣性をともなう旋回性能や、宇宙空間でのAMBAC(アンバック=能動的質量移動による自動姿勢制御)を自在に制御することが可能となる。これにより脚部は『移動のため歩く』必要はない。一方で、格闘戦用機として人間に近いアクションを要求されるエクシアでは、人間と同等の関節可動を実現している。結果として、可動範囲確保のため装甲が他のガンダムより細かく分割されており、ポーズによっては一部の内部構造が露出することもある。防御力は低下するが、それを補う機動性を獲得することで、被弾率は四機のガンダムの中で最も低い。

[脚部]

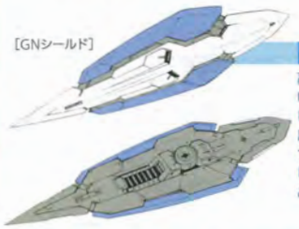
GN LONG BLADE/GN SHORT BLADE

GNロングブレイドを左腰、GNショートブレイドを右腰に装着する。刃をGN粒子で包み込むことにより、驚異的な切断能力を発揮する。エクシアの七本の剣の中で、最も開発に時間がかかった装備であり、ソレスタルビーイングの武力介入開始に間に合わなかった。実は本装備には隠された『用途』があり、そのためのステータスをクリアするために長い調整時間を必要とした。その『用途』とは、『太陽炉搭載機との格闘戦』であり、それが意味するものは、『裏切り者の機体との戦闘』であった。本装備は、GNフィールドを貫き、切り裂く能力を持ち、実際に裏切り者であるアレハンドロ・コーナーの駆るアルヴァトーレ(アルヴァアロン)のGNフィールドを切り裂くことになる。

[GNロングブレイド]



[GNシールド]



GN SHIELD

高い強度を持つEカーボン素材の盾。表面にGNフィールドを展開し高い防御能力を実現している。エクシアからのパワー供給を受けている限り、通常兵器でこのシールドを破ることは難しい。エクシアを初めとするガンダムは、同様の性能を持った装甲で包まれており、一見すると盾は不必要にも思える。しかしながら、自由に可動可能な腕に装着された盾は、腕自体が可動することで、攻撃のショックを吸収する役割を持つ。またエクシアの盾は、左右のパーツが可動し、広範囲を防御することも可能となっている。広げた形態は物理的な防御力が低下するため、GNフィールド効果を高めて使用する仕様となっており、消費粒子量が増大する。

HEAD UNIT

人間によく似たガンダムの頭部は、人間と同じく機体全般の制御に関係した機能が集約されている。頭部アンテナは、レーダー索敵機能と通信機能を合わせ持つ。また、ヴェーダとのリンク(量子通信)を行うためのブラックボックスも搭載されている。エクシアを代表とする第三世代ガンダムの頭部アンテナには、粒子制御能力は試験的に導入されているものの、そのほとんどは肩に設置されたクラビカルアンテナに頼っている。余談となるが、エクシアの頭部デザインは、初期ソレスタルビーイングで採用されていたガンダムマイスターのパイロットスーツのヘルメットに似せて作られている。これはマイスター=ガンダムという信念を表現したものと思われる。

[GNビームサーベル/GNビームダガー]

GN BEAM SABER/DAGGER

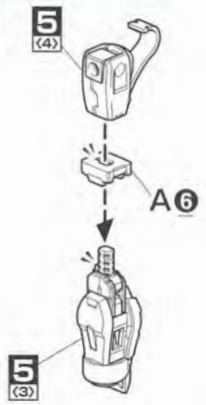
抜きはなつと、GN粒子による刃が現れる格闘兵器。実剣ではなく純粋なビームによる剣である。高い威力を持つ上、収納時には刃の部分が無くなるためミッション中に邪魔にならない。一方で、大気の状況やビーム拡散策により威力が減退する弱点もある。また、実体剣と違い、敵を引っかけたり、剣で押すなど物理的な使用が不可能である。肩に装着されているのがビームサーベルであり、その名が示すとおり剣として使用される。腰に装着されるのがビームダガーで、サーベルより刃が短い分、離れた敵に投げつけて使用するのに適している。両者は本来は同一の装備だが、機能調整によって特性を変えられている。マイスターがコクピット内から再調整することで、両者の機能を入れ替えることも出来る。

[GNコンデンサー]

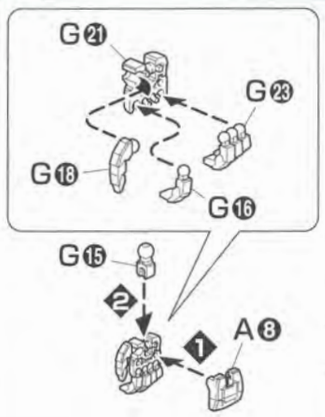
GN CONDENSER

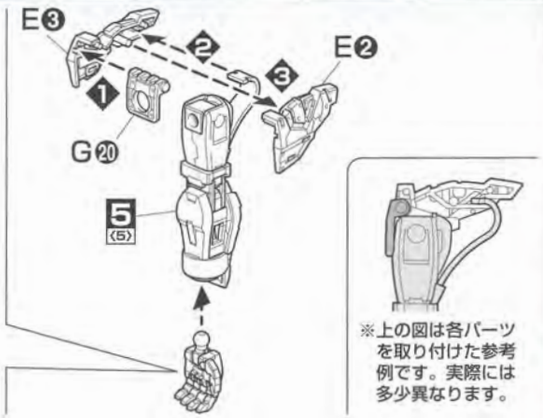
ガンダムに搭載された太陽炉は、無尽蔵にエネルギーを生産することが出来る。しかしながら、一定時間に生産出来るエネルギー量には上限があるため、戦闘中の連続したビーム兵器の使用など、一度に大量のエネルギーを消費する場合、パワー切れを起こす可能性がある。これを回避するため、ガンダムの各部には太陽炉から生産されたGN粒子を溜めておく、GNコンデンサーが搭載されている。ガンダムが非活動中でも太陽炉は粒子生産を続け、余剰粒子がコンデンサー内に溜められる。コンデンサーには、粒子量とその圧縮率をデータ表示する機能があるが、これは整備上必要とされるものである。ミッション中には、この表示機能を友軍機に対する暗号通信にも転用している。コンデンサー技術を応用し、大型化コンデンサーを太陽炉の代わりに搭載し、予め蓄えた粒子で起動させる機体も製造されている。

5 〈5〉



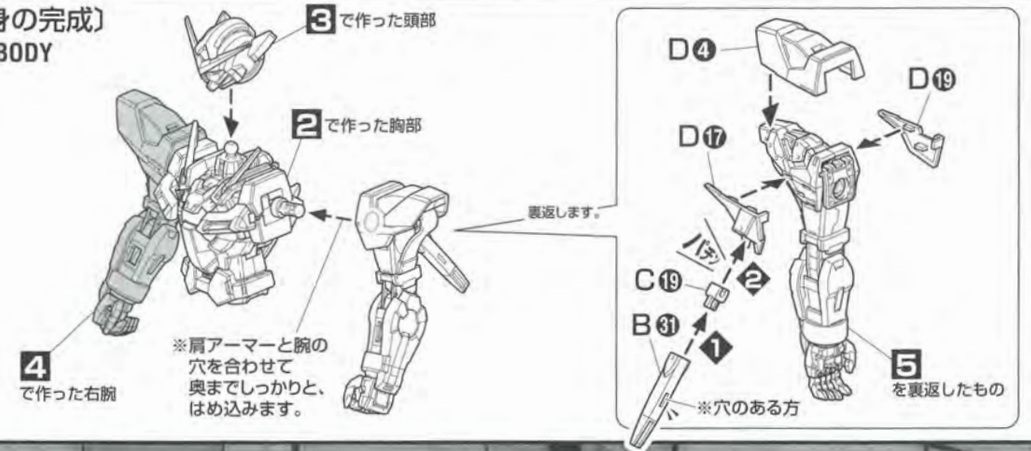
5 〈6〉





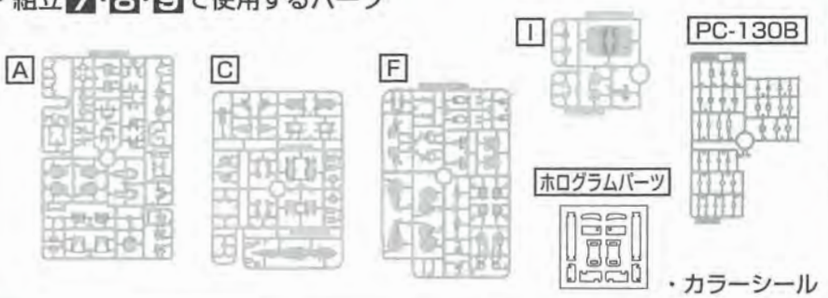
※上の図は各パーツを取り付けた参考例です。実際には多少異なります。

6 〔上半身の完成〕 UPPER BODY



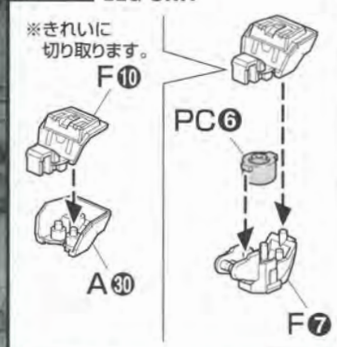
7 8 9 LEG UNIT

・組立 7・8・9 で使用するパーツ

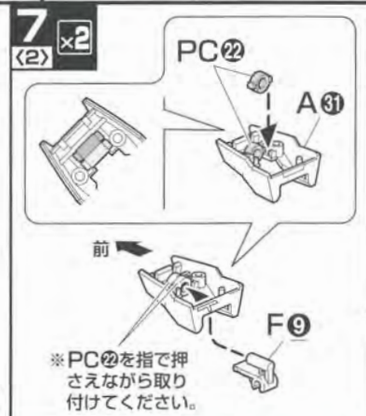


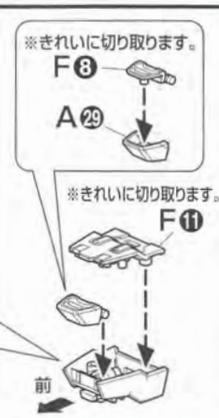
・カラーシール

7 〈1〉 ×2 〔脚部の組立〕 LEG UNIT

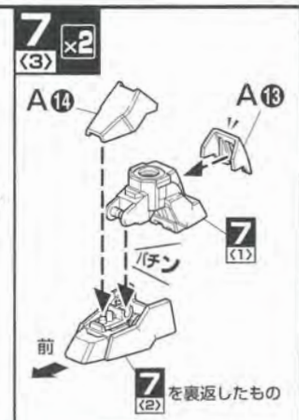


7 〈2〉 ×2



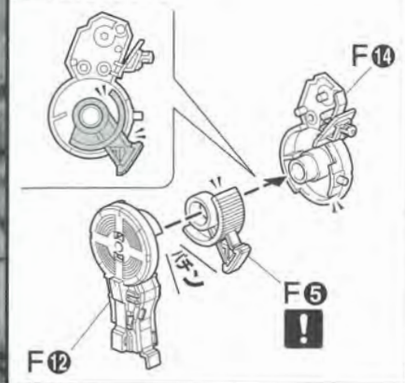


7 〈3〉 ×2

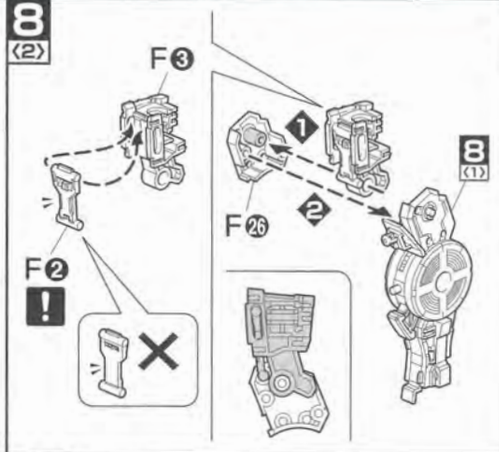


※組立図中の記号説明　×2 部品を数値の個数作ります

8 〈1〉 〔右脚の組立〕 RIGHT LEG

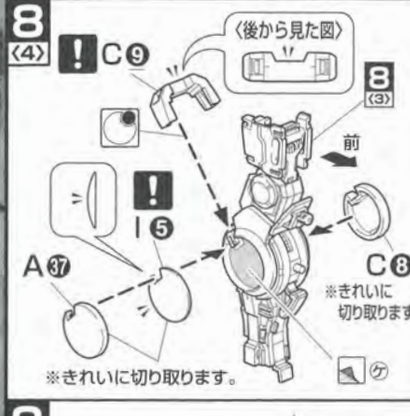


8 〈2〉

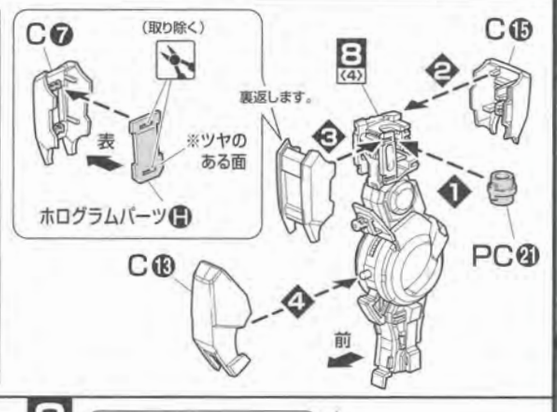


8 〈3〉

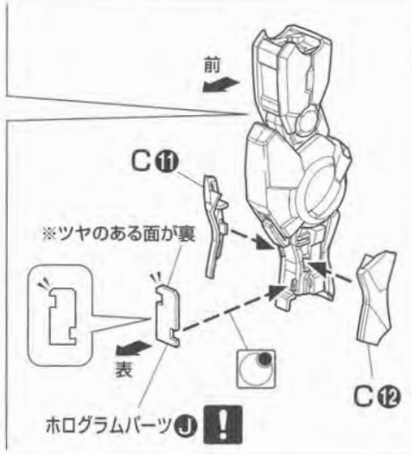
8 〈4〉



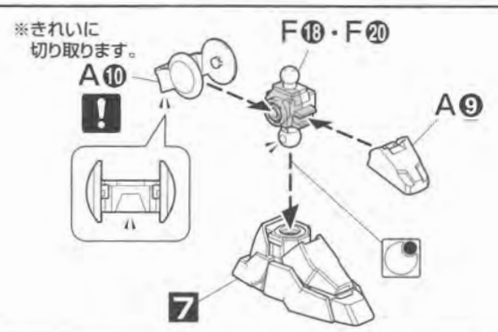
8 〈5〉



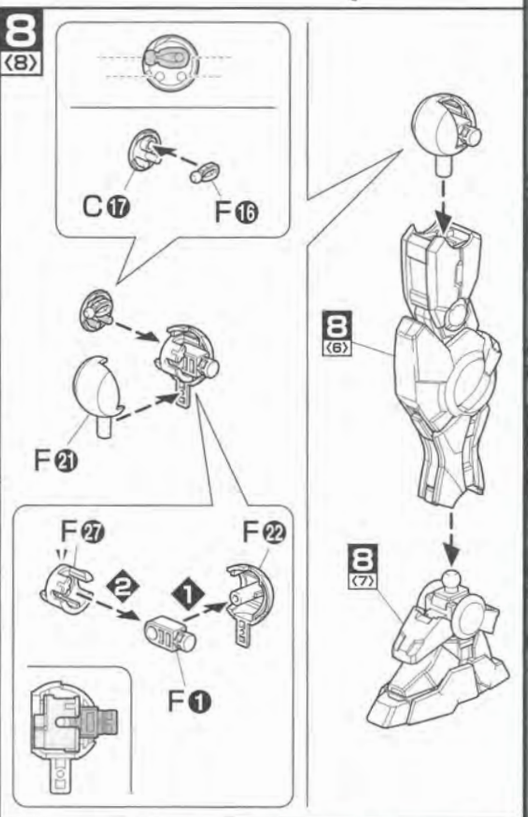
8 〈6〉



8 〈7〉

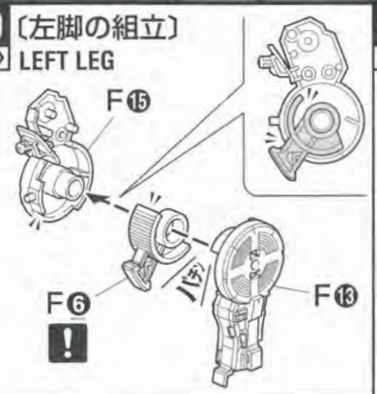


8 〈8〉

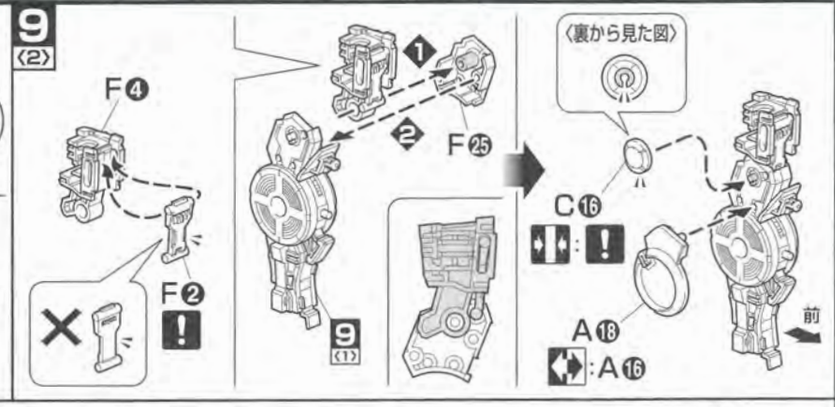


※組立図中の記号説明　! 向きに注意して組み立てる　反対側に取り付けるパーツ　ア シールの番号　先に組み立てる　両側に同じパーツを取りつける　取り除く部分

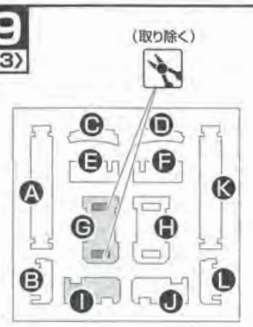
9 〈1〉 〔左脚の組立〕 LEFT LEG



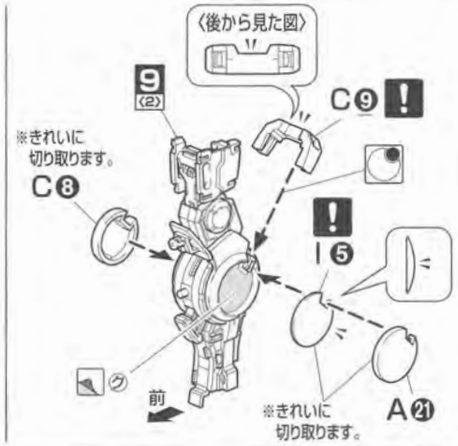
9 〈2〉

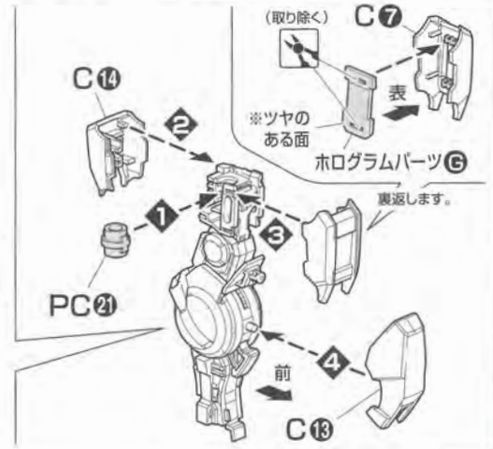


9 〈3〉

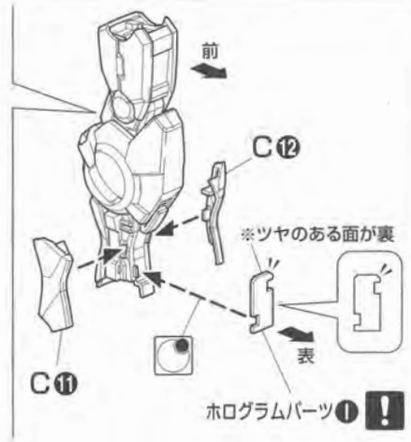


※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

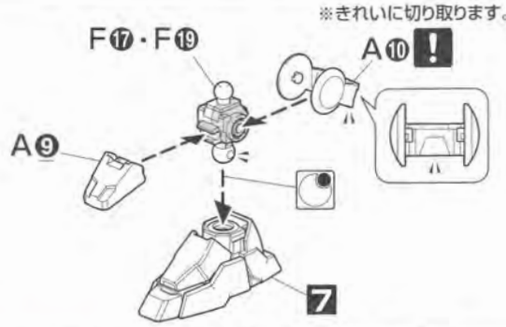




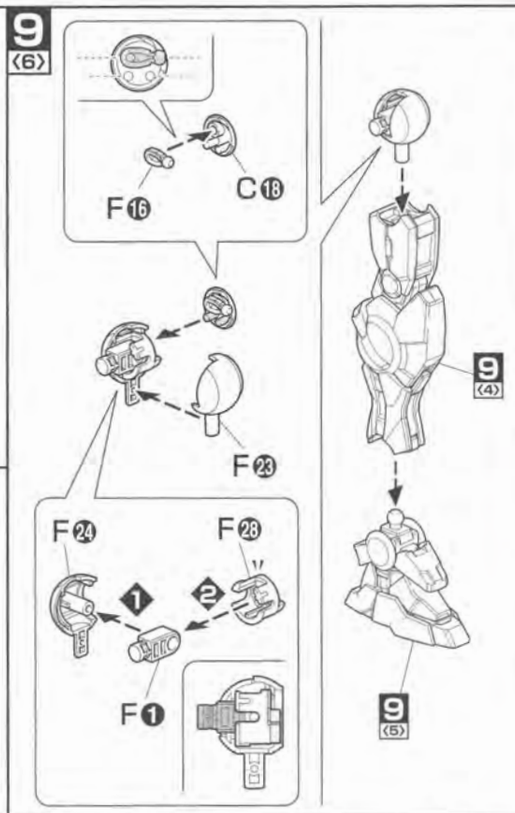
9 〈4〉



9 〈5〉



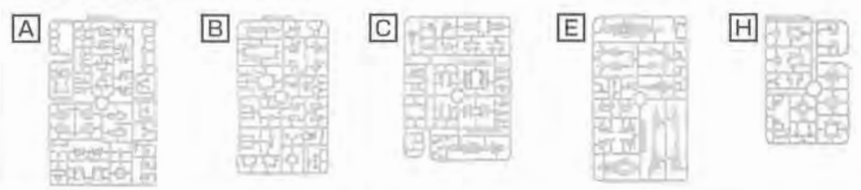
9 〈6〉



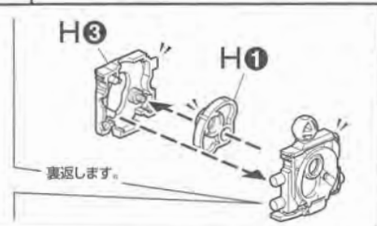
※組立図中の記号説明
向きに注意して組み立てる
反対側に取り付けるパーツ
両側に同じパーツを取りつける
シールの番号
取り除く部分
先に組み立てる

10 11 12 WAIST UNIT

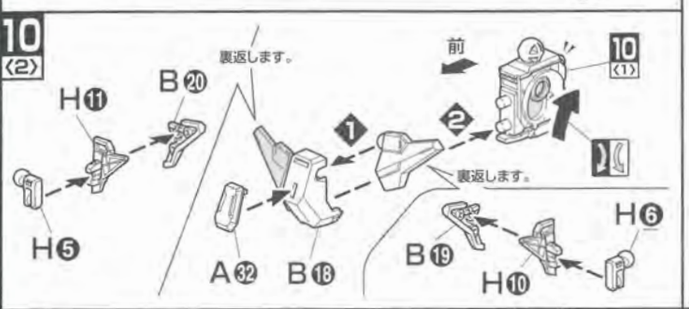
・組立10・11・12で使用するパーツ



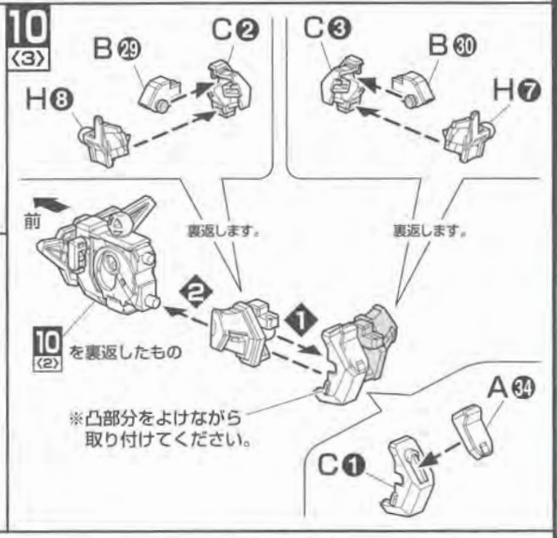
10 〈1〉 〔腰部の組立〕 WAIST UNIT



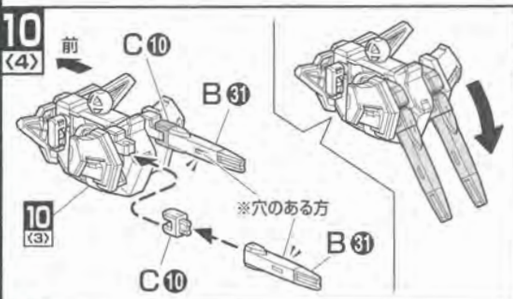
10 〈2〉



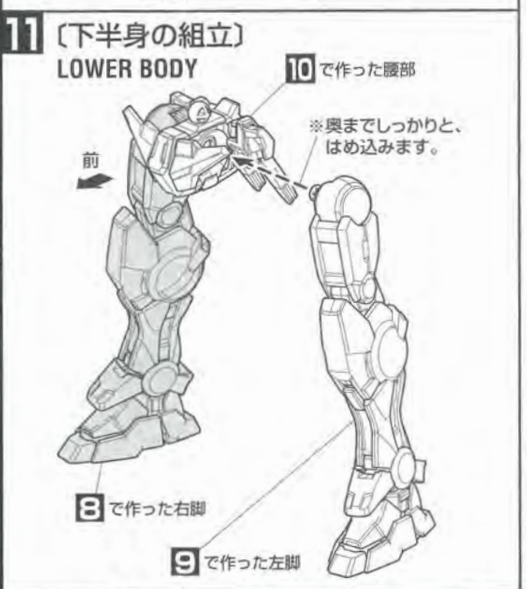
10 〈3〉



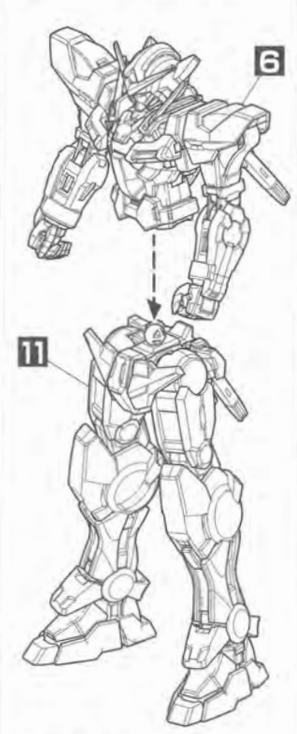
10 〈4〉



11 〔下半身の組立〕 LOWER BODY

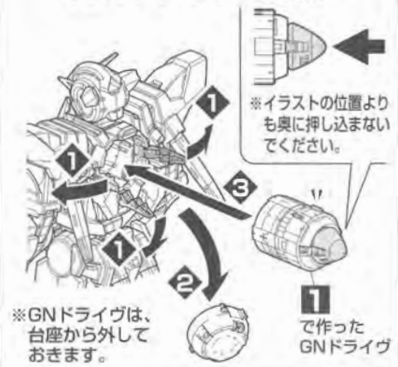


12 〈1〉 〔完成〕 FINAL ASSEMBLE



※B⑭・E⑫は好みの場所に飾ってください。

〈GNドライヴの搭載〉



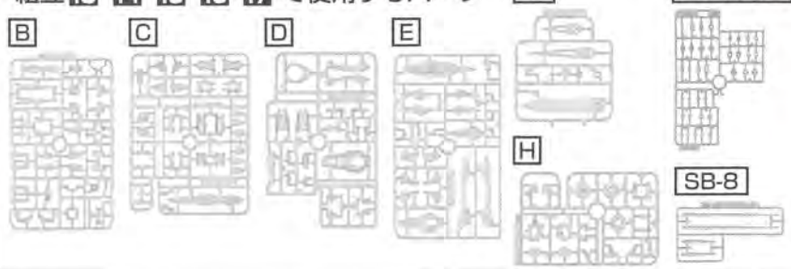
※組立図中の記号説明
両側を同じように動かす

12 〈コクピットハッチの開け方〉 〈2〉

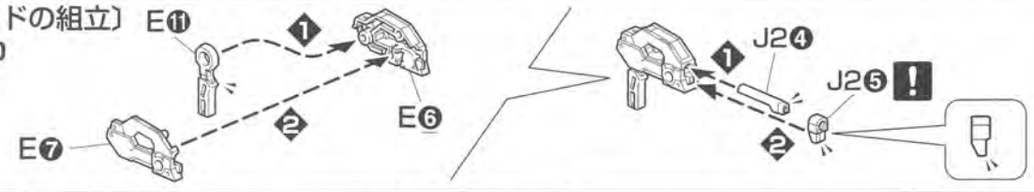
〈クラビカルアンテナの収納〉

13 14 15 16 17 WEAPONS

・組立 13・14・15・16・17 で使用するパーツ

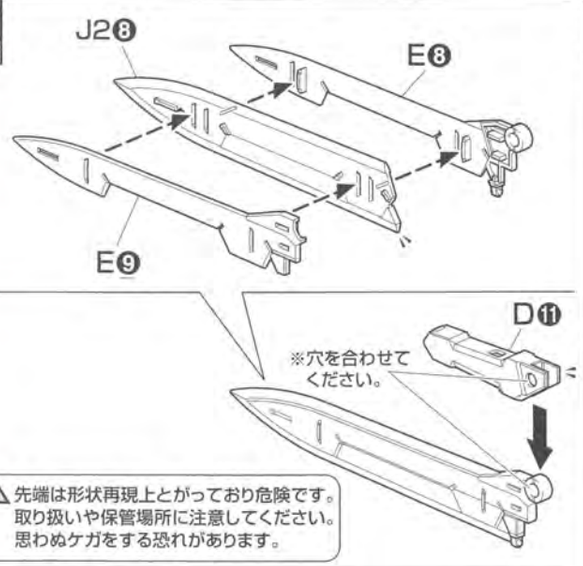


13 〈GNソードの組立〉 〈1〉 GN SWORD



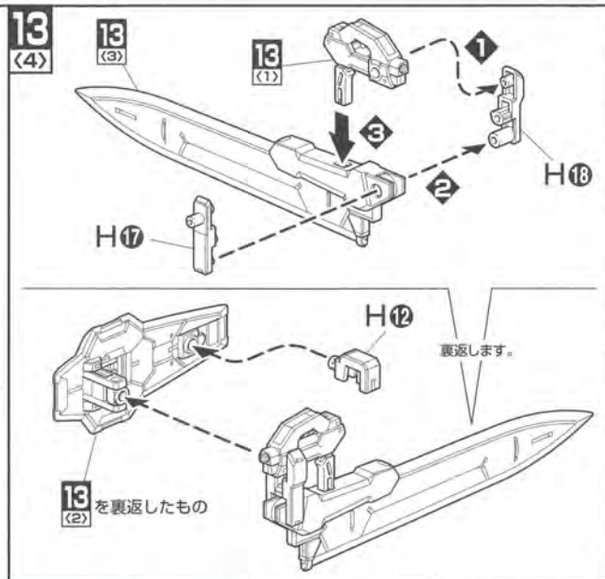
13 〈2〉

13 〈3〉



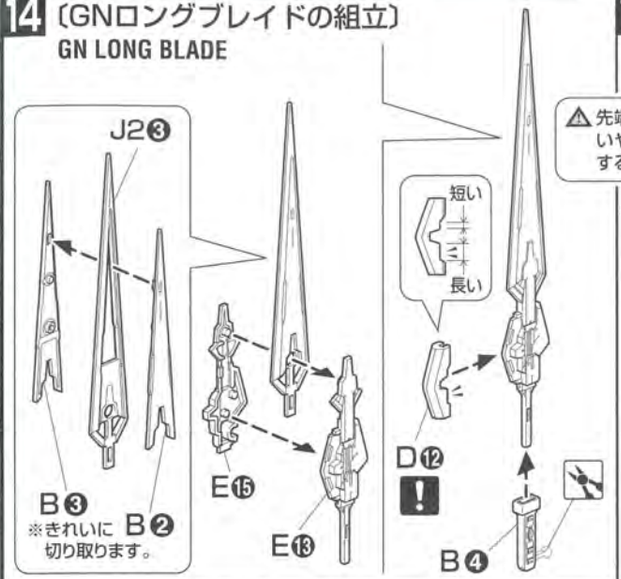
⚠ 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

13 〈4〉



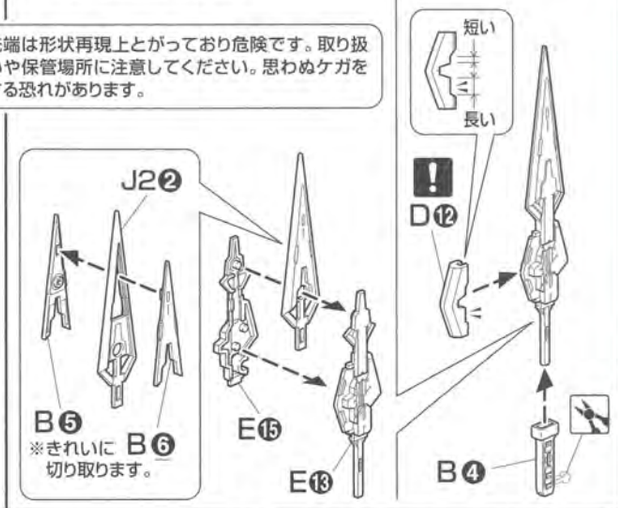
※組立図中の記号説明
- ! 向きに注意して組み立てる
- 両側を同じように動かす

14 〈GNロングブレイドの組立〉 GN LONG BLADE

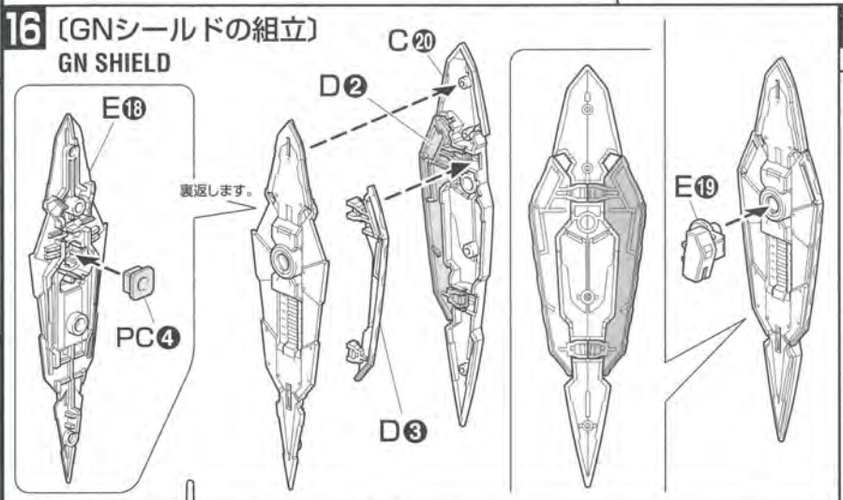


15 〈GNショートブレイドの組立〉 GN SHORT BLADE

⚠ 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

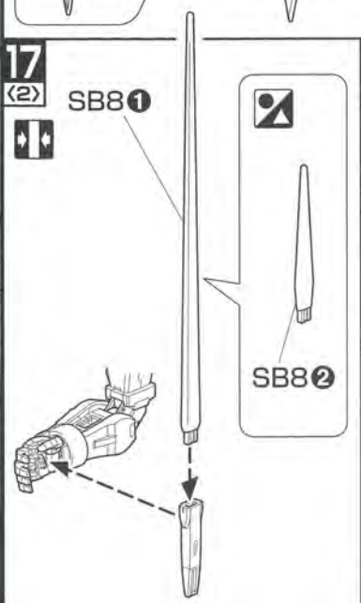


16 〈GNシールドの組立〉 GN SHIELD

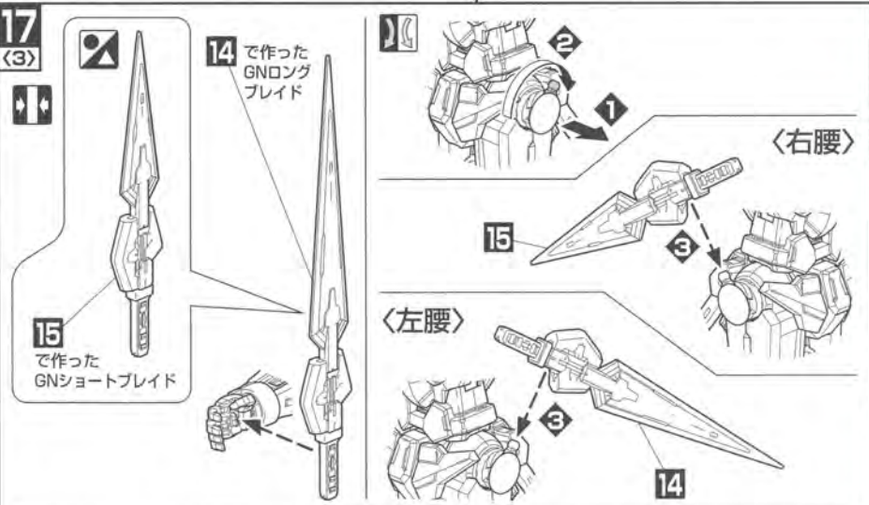


17 〈武器の装備〉 〈1〉 WEAPONS EQUIPMENT

17 〈2〉



17 〈3〉



⚠ 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

※組立図中の記号説明
- 両側を同じように動かす
- どちらかを選んで取りつける
- ! 向きに注意して組み立てる
- 切り取る部分
- 左手にも持てます

17 〈4〉

⚠ 先端は形状再現上とがっており危険です。
取り扱いや保管場所に注意してください。
思わぬケガをする恐れがあります。

※手首の凸部に差し込んでください。

※写真のように手に持たせずに格納することもできます。

13 で作ったGNソード

17 〈5〉

17 〈4〉

〈上から見た図〉

❷

❶

❸

17 〈6〉

H❹

※バンダイプラモデルアクションベース1（別売り）を使用してディスプレイできます。

16 で作ったGNシールド

※脚の可動範囲が広がります。

※組立図中の記号説明

どちらかを選んで取りつける

MARKING SEAL & DECAL

Seal 〈シール〉

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

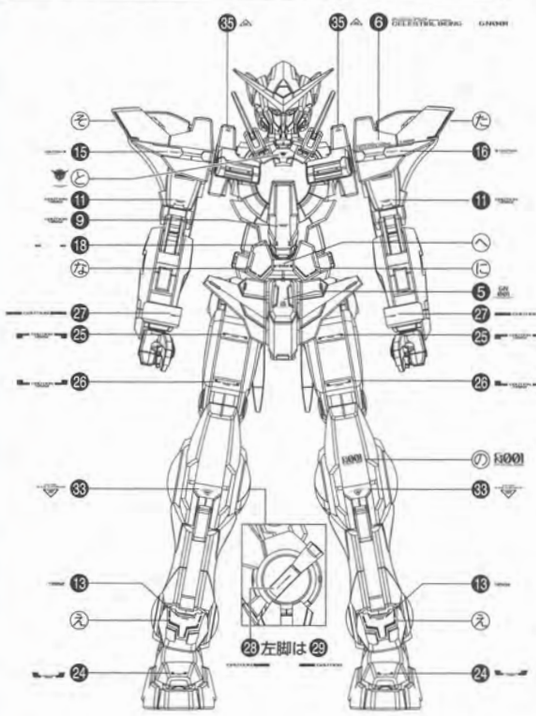
マーキングシールは「ひらがな」、ガンダムデカールは「数字」で表記してあります。
【例】あ…マーキングシール　❶…ガンダムデカール

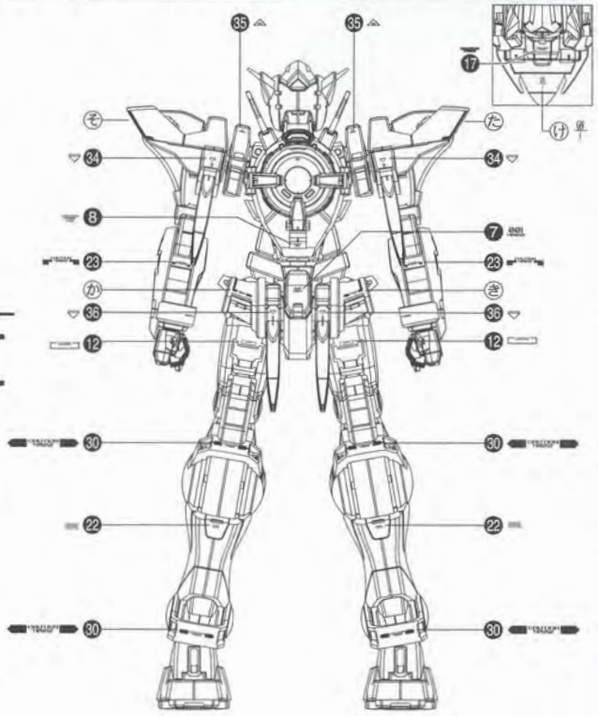
【ガンダムデカールの貼りかた】

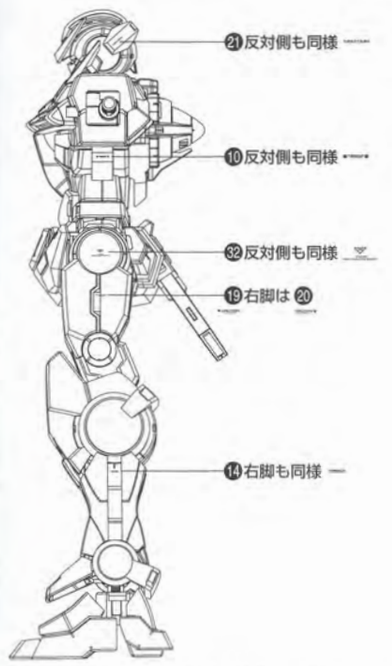
※P3のガンダムデカールの貼り方を参考にあせらずゆっくり貼ってください。

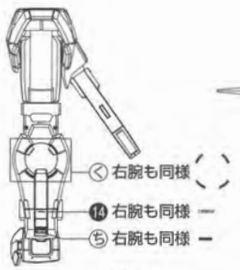
1.転写するマークを大まかに切ります。
2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

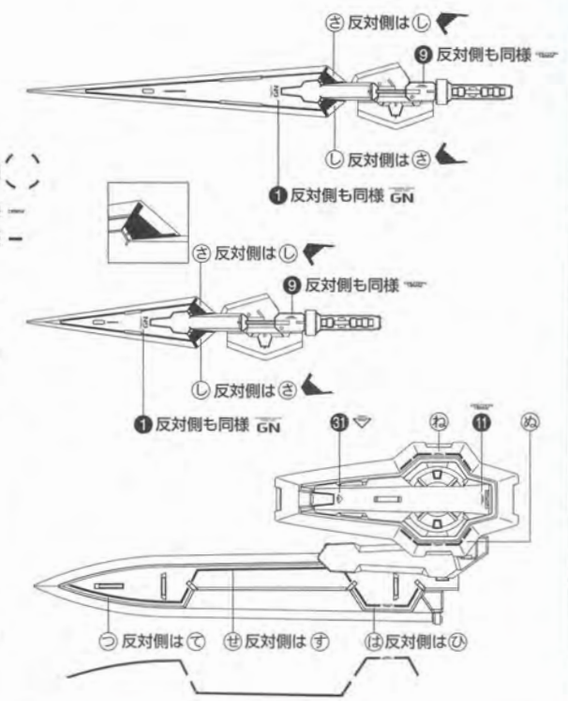
このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのものです。貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。











※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。